

AO入試国際医療人特別選抜（医学科）

1. 趣旨

旭川医科大学は教育理念・目標に「教育、研究、医療活動を通じて国際社会の発展に寄与する医療人の養成」を掲げています。このコンセプトに沿って、以下のような人材の育成を特に推進するために、AO入試国際医療人特別選抜を実施します。この入試では、将来、国際医療に貢献する強い意欲のある者を選抜することを目的としております。

【旭川医科大学の育成する国際医療人】

①世界水準の医療を実践するため、国際社会で必要な語学力を修得し、臨床医として患者を診療・ケアできる能力 ②最先端医療・医学の研究を、国際学会等で報告し、論文として公表することを通じて医学の発展に寄与できる能力 ③世界の各地における地域医療の問題を抽出し、その解決のために医療のみならず保健・福祉も含めた地域医療を向上させる能力。これらの能力を向上させるため、かつ、旭川医科大学をグローバルに発展させるために、強い志を持ち生涯に亘って学習を続ける人材を求めます。

2. 出願資格及び要件

高等学校又は中等教育学校を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者（令和2年3月までに卒業見込みの者を含む。）^{*1}で、令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験し、かつ、次の要件を満たすもの

- (1) 本学への志望動機が明確で、将来、旭川医科大学の国際医療及び国際社会の医療に貢献する強い意欲を持っている者
- (2) 本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿っていることを自己アピールできる者
- (3) 高等学校等における調査書の全体の評定平均値が4.3以上^{*2}の者で、高等学校等の学級担任教諭及び学級担任教諭以外の理科担当教諭等の計2名が医療職者になるにふさわしい人物であると評価できるもの
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者
- (5) 出願時に「国際医療への貢献及び卒業臨床研修確約・確認書(P17)」を提出できる者

^{*1} 文部科学大臣が認定した在外教育施設を修了又は修了見込みの者を含む。

^{*2} 「評定平均値」は、高等学校等を卒業見込み又は修了見込みの者は第3学年1学期（二学期制の場合は第3学年前期）まで、卒業又は修了した者は第3学年修了時までのものとする。

【令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目】

受験を要する教科・科目		科目の選択方法・科目数	
国語	「国語」	必須	1
地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」	左記科目から1科目を選択	1
数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	2
	「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記科目から1科目を選択	
理科	「物理」「化学」「生物」	左記科目から2科目を選択	2
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	左記科目から1科目を選択	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は5教科7科目です。このうち1科目でも受験しない者は、合格候補者から除外されます。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- (3) 数学の科目のうち「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- (4) 外国語の「英語」を受験する者は、筆記試験及びリスニングの両方を受験してください。筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算した成績を、素点として利用します。筆記試験又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみを利用します。
- (5) 過年度の大学入試センター試験成績を利用することはできません。

3. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、すべての志願者を対象に、調査書、自己推薦書及び人物評価書の内容により第1次選考を行います。第1次選考合格者にもみ第2次選考として課題論文試験及び面接試験を実施し、第1次選考結果と併せて志願者の能力、国際医療に貢献する強い意欲及び適性等を総合的に審査し、判定します。

ただし、令和2年度大学入試センター試験を課し、本学の定める基準の85%（合計点1200点中1020点）以上であった者を選抜の対象とします（大学入試センター試験は、選抜の対象にするか否かの判定のみに用います）。

なお、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

第1次選考の結果は、令和元年11月11日（月）に合格者には受験票を、不合格者には不合格通知書を送付します。受験票もしくは不合格通知書が、試験日の5日前までに到着しない場合は、至急、本学入試課まで電話連絡してください。

●評価項目

試験科目	評価項目
課題論文	問題抽出力、論理的思考・判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる
面接	口頭表現力、意欲、問題抽出力、知識・技能、応用力等を問う

●配点

課題論文	面接	総合点
300	600	900

●大学入試センター試験の配点（本学の定める基準）

国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計点
200	100	300	300	300	1200

●課題論文のテーマ

最近の医学、医療、福祉及び社会一般の事象に関する内容とします。

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、面接の得点の高い順とします。

●併願等について

- (1) このAO入試に不合格となった場合に備えて、一般入試に出願することができます。
- (2) 他の国公立大学・学部のAO入試及び推薦入試との併願は認められません。ただし、本学のAO入試北海道特別選抜との併願は可能です。なお、本学の推薦入試道北・道東特別選抜との併願は認められません。
- (3) 本学のAO入試北海道特別選抜と併願している場合は、AO入試国際医療人特別選抜での選抜を優先し、その後、AO入試北海道特別選抜の選抜を行います。

AO入試北海道特別選抜（医学科）

1. 趣旨

北海道には医師が不足している地域が多く存在し、本学卒業生が道内に残って活躍することが道民から強く求められています。そこで、北海道の地域医療に関心を持ち、医師としての適性ととも、より本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿った北海道出身の学生に入学してもらいたいと願っています。

そのため、北海道の地域医療を理解し、将来北海道の医療に貢献する強い意欲のある者を選抜することとし、意欲、能力、適性、将来性等の視点からAO入試北海道特別選抜を実施します。

2. 出願資格及び要件

北海道に所在する高等学校又は中等教育学校を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者（令和2年3月までに卒業見込みの者を含む。）で、令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験し、かつ、次の要件を満たすもの

- (1) 本学への志望動機が明確で、将来医学の分野で北海道の医療及び社会に貢献する強い意欲を持っている者
- (2) 本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿っていることを自己アピールできる者
- (3) 高等学校等における調査書の全体の評定平均値が4.0以上^{*1}の者で、高等学校等の学級担任教諭及び学級担任教諭以外の理科担当教諭等の計2名が医療職者になるにふさわしい人物であると評価できるもの
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者
- (5) 出願時に「地域医療への貢献及び卒業後臨床研修確約・確認書(P18)」を提出できる者

*1 「評定平均値」は、高等学校等を卒業見込み又は修了見込みの者は第3学年1学期（二学期制の場合は第3学年前期）まで、卒業又は修了した者は第3学年修了時までのものとする。

【令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目】

受験を要する教科・科目		科目の選択方法・科目数	
国語	「国語」	必須	1
地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」	左記科目から1科目を選択	1
数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	2
	「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記科目から1科目を選択	
理科	「物理」「化学」「生物」	左記科目から2科目を選択	2
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	左記科目から1科目を選択	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は5教科7科目です。このうち1科目でも受験しない者は、合格候補者から除外されます。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- (3) 数学の科目のうち「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- (4) 外国語の「英語」を受験する者は、筆記試験及びリスニングの両方を受験してください。筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算した成績を、素点として利用します。筆記試験又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみを利用します。
- (5) 過年度の大学入試センター試験成績を利用することはできません。

3. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、自己推薦書、人物評価書、調査書、課題論文、集団面接及び個人面接によって、志願者の能力、北海道における医療に貢献する強い意欲及び適性等を審査し、令和2年度大学入試センター試験の成績と併せて総合的に判定します。ただし、大学入試センター試験の成績が本学の定める基準の75%（合計点1200点満点中900点）以上であった者を選抜の対象とします。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●評価項目

試験科目	評価項目
課題論文	問題抽出力、論理的思考・判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる
集団面接	問題抽出力、口頭表現力、チーム活動能力、協調性、意欲、知識・技能、応用力、実行力、行動力等を問う
個人面接	口頭表現力、意欲等を問う

●配点

課題論文	集団面接	個人面接	大学入試センター試験合計点	合計点
200	300	200	1200	1900

●大学入試センター試験の配点（本学の定める基準）

国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計点
200	100	300	300	300	1200

●課題論文のテーマ

最近の医学、医療、福祉及び社会一般の事象に関する内容とします。

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、課題論文の得点の高い順とし、なお、同順位の場合は、集団面接の評価点の高い順とします。

●併願等について

- (1) このAO入試に不合格となった場合に備えて、一般入試に出願することができます。
- (2) 他の国公立大学・学部のAO入試及び推薦入試との併願は認められません。ただし、本学のAO入試国際医療人特別選抜又は推薦入試道北・道東特別選抜との併願は可能です。
- (3) 本学のAO入試国際医療人特別選抜又は推薦入試道北・道東特別選抜と併願している場合は、AO入試国際医療人特別選抜又は推薦入試道北・道東特別選抜での選抜を優先し、その後、AO入試北海道特別選抜の選抜を行います。

推薦入試道北・道東特別選抜（医学科）

1. 趣旨

本学は、道北・道東地域における高度先端医療の提供と医療過疎の解消を期待し、設置された医療系単科大学です。この趣旨を踏まえて、本学の教育の理念で「地域医療に根ざした医療・福祉の向上に貢献する医療者を育てる。」ことを掲げ、地域医療に根ざした医療人を育成することを使命としています。北海道は札幌・旭川市周辺に医師が集中し、道北・道東地域では医療過疎が進む医師の偏在が社会的な問題となっています。この入試では、道北・道東等の出身者で、将来、当該地域における医療に貢献する強い意欲のある者を選抜することを目的としております。

2. 出願資格及び推薦要件

高等学校又は中等教育学校を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者（令和2年3月までに卒業見込みの者を含む。）^{*1}で、令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験し、かつ、次の要件を満たすもの

- (1) 生まれ育った地域^{*2}が、北海道の上川中部を除く^{*3}道北、道東^{*4}並びに北空知及び中空知^{*5}（以下「当該地域」という。）に該当し、将来、当該地域における医療に貢献する強い意欲がある者
- (2) 高等学校又は中等教育学校における調査書の全体の評定平均値が4.3以上^{*6}の者で、人物・学力ともに優秀かつ健康であり、学校長が責任を持って推薦できるもの
- (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者
- (4) 出願時に「地域医療への貢献及び卒後臨床研修確約・確認書(P19)」を提出できる者

^{*1} 文部科学大臣が認定した在外教育施設を修了又は修了見込みの者を含む。

^{*2} 生まれ育った地域とは、志願者が小学校、中学校又は高等学校等のいずれかにおいて教育を受けた経験のある地域で、かつ、父母等（特別な事情がある場合は、祖父母等の保護者）が令和元年11月1日現在で継続して3年以上居住している地域をいう。

^{*3} 上川中部とは、旭川市、東神楽町、東川町、美瑛町、鷹栖町、比布町、愛別町、当麻町及び上川町をいい、二次医療圏として上川中部全体では、人口10万人当たりの医師数が全道平均を上回っているため、除外する。

^{*4} 道北、道東とは、宗谷、上川、オホーツク、釧路及び十勝の各総合振興局並びに留萌及び根室の各振興局をいう。

^{*5} 中空知とは、芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町及び雨竜町の各市町をいう。

^{*6} 「評定平均値」は、高等学校等を卒業見込み又は修了見込みの者は第3学年1学期（二学期制の場合は第3学年前期）まで、卒業又は修了した者は第3学年修了時までのものとする。

【令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目】

受験を要する教科・科目		科目の選択方法・科目数	
国語	「国語」	必須	1
地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」	左記科目から1科目を選択	1
数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	2
	「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記科目から1科目を選択	
理科	「物理」「化学」「生物」	左記科目から2科目を選択	2
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	左記科目から1科目を選択	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は5教科7科目です。このうち1科目でも受験しない者は、合格候補者から除外されます。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- (3) 数学の科目のうち「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- (4) 外国語の「英語」を受験する者は、筆記試験及びリスニングの両方を受験してください。筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算した成績を、素点として利用します。筆記試験又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみを利用します。
- (5) 過年度の大学入試センター試験成績を利用することはできません。

3. 推薦人員

本人の強い意欲に基づく学校長推薦とし、学校長が推薦できる人数に制限はありません。

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学校長の推薦書、志望理由書、調査書、課題論文、集団面接及び個人面接によって、受験者の能力、当該地域における医療に貢献する強い意欲及び適性等を総合的に審査し、判定します。ただし、令和2年度大学入試センター試験を課し、本学の定める基準の75%（合計点900点中675点）以上であった者を選抜の対象とします（大学入試センター試験は、選抜の対象にするか否かの判定のみに用います）。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●評価項目

試験科目	評価項目
課題論文	問題抽出力、論理的思考・判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる
集団面接	問題抽出力、口頭表現力、協調性、知識・技能、応用力等を問う
個人面接	口頭表現力、意欲等を問う

●配点

課題論文	集団面接	個人面接	総合点
300	300	300	900

●大学入試センター試験の配点（本学の定める基準）

国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計点
200	100	200	200	200	900

●課題論文のテーマ

最近の医学、医療、福祉及び社会一般の事象に関する内容とします。

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、課題論文の得点の高い順とし、なお、同順位の場合は、集団面接の評価点の高い順とします。

●併願等について

- (1) この推薦入試に不合格となった場合に備えて、一般入試に出願することができます。
- (2) 国公立大学・学部への推薦入試の出願は、1つの大学・学部等に限られています。
- (3) 他の国公立大学・学部のAO入試との併願は認められません。ただし、本学のAO入試北海道特別選抜との併願は可能です。なお、本学のAO入試国際医療人特別選抜との併願は認められません。
- (4) 本学のAO入試北海道特別選抜と併願している場合は、推薦入試道北・道東特別選抜での選抜を優先し、その後、AO入試北海道特別選抜の選抜を行います。

推薦入試（看護学科）

1. 趣旨

本学では、他者を思いやる心を持ち、看護学に関する勉学意欲が特に強い学生を教育し、将来はその専門分野における実務・指導に携わる看護職者に育成したいと考えています。

そのためこの選抜では、現在、高等学校等で学んでいる生徒の中から、学校長が上記の趣旨に沿っていると責任を持って推薦する者の中から選抜を行います。

2. 出願資格及び推薦要件

高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者で、次の要件を満たす者

- (1) 高等学校又は中等教育学校における調査書の全体の評定平均値が4.0以上^{*1}の者で、人物・学力ともに優秀でかつ健康である者
- (2) 本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿っていると学校長が責任をもって推薦できる者
- (3) 看護学に関する勉学意欲が特に強く、将来はその専門分野における実務・指導に携わることを決意している者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

*1 「評定平均値」は、第3学年1学期（二期制の場合は第3学年前期）までのものとする。

3. 推薦人員

高等学校長又は中等教育学校長が推薦できる人数は、1校につき2名以内とします。

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学校長の推薦書、調査書、志望理由書及び面接試験によって受験者の能力及び適性等を総合的に審査し、判定します。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●評価項目

試験科目	評価項目
集団面接	問題抽出力、口頭表現力、協調性、知識・技能、応用力等を問う
個人面接	口頭表現力、意欲等を問う

※集団面接は、異なる課題による面接を複数回実施します。

●配点

集団面接	個人面接	総合点
600	300	900

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、集団面接の評価点の高い順とします。

●併願等について

国公立大学・学部への推薦入試の出願は、1つの大学・学部等に限られています。

令和2年度旭川医科大学AO入試国際医療人特別選抜 国際医療への貢献及び卒業後臨床研修確約・確認書

旭川医科大学長 殿

私は旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約します。

旭川医科大学に入学したのちは、国際社会の医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後の後期臨床研修も旭川医科大学病院を中心として受け、将来は旭川医科大学の国際医療に貢献する。

令和 年 月 日

志願者

住所

氏名（自筆）㊟

生年月日 平成 年 月 日生

旭川医科大学長 殿

私は志願者 _____ が旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約したことを確認しました。

旭川医科大学に入学したのちは、国際社会の医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後の後期臨床研修も旭川医科大学病院を中心として受け、将来は旭川医科大学の国際医療に貢献する。

令和 年 月 日

保護者等

住所

氏名（自筆）㊟

【留意事項】

- (1) 旭川医科大学が指定する病院は原則として旭川医科大学病院とし、医師臨床研修マッチング協議会のマッチング後、研修指定病院から発行される通知書の写を大学に提出するものとします。
- (2) 本用紙に記載の個人情報については、本学が、卒業後の動向を確認する為に利用することがあります。
- (3) 初期臨床研修、後期臨床研修は、それぞれ本学の卒業臨床研修センター、専門医育成・管理センターのプログラムを受けるものとします。

令和2年度旭川医科大学AO入試北海道特別選抜 地域医療への貢献及び卒後臨床研修確約・確認書

旭川医科大学長 殿

私は旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約します。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後の後期臨床研修も旭川医科大学病院を中心として受け、将来は旭川医科大学が行う北海道の地域医療に貢献する。

令和 年 月 日

志願者

住所

氏名（自筆）

㊞

生年月日 平成 年 月 日生

旭川医科大学長 殿

私は志願者 _____ が旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約したことを確認しました。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後の後期臨床研修も旭川医科大学病院を中心として受け、将来は旭川医科大学が行う北海道の地域医療に貢献する。

令和 年 月 日

保護者等

住所

氏名（自筆）

㊞

【留意事項】

- (1) 旭川医科大学が指定する病院は原則として旭川医科大学病院とし、医師臨床研修マッチング協議会のマッチング後、研修指定病院から発行される通知書の写を大学に提出するものとします。
- (2) 本用紙に記載の個人情報については、本学が、卒業後の動向を確認する為に利用することがあります。
- (3) 初期臨床研修、後期臨床研修は、それぞれ本学の卒後臨床研修センター、専門医育成・管理センターのプログラムを受けるものとします。

令和2年度旭川医科大学推薦入試道北・道東特別選抜 地域医療への貢献及び卒後臨床研修確約・確認書

旭川医科大学長 殿

私は旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約します。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後の後期臨床研修も旭川医科大学病院を中心として受け、将来は旭川医科大学が行う道北・道東の地域医療に貢献する。

令和 年 月 日

志願者

住所

氏名（自筆）㊟

生年月日 平成 年 月 日生

旭川医科大学長 殿

私は志願者 _____ が旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約したことを確認しました。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後の後期臨床研修も旭川医科大学病院を中心として受け、将来は旭川医科大学が行う道北・道東の地域医療に貢献する。

令和 年 月 日

保護者等

住所

氏名（自筆）㊟

【留意事項】

- (1) 旭川医科大学が指定する病院は原則として旭川医科大学病院とし、医師臨床研修マッチング協議会のマッチング後、研修指定病院から発行される通知書の写を大学に提出するものとします。
- (2) 本用紙に記載の個人情報については、本学が、卒業後の動向を確認する為に利用することがあります。
- (3) 初期臨床研修、後期臨床研修は、それぞれ本学の卒後臨床研修センター、専門医育成・管理センターのプログラムを受けるものとします。